

第23回 桑名市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました

日時 令和2年5月26日（火曜日） 午後1時から午後1時30分

会議概要

1. 現状の報告及び今後の対応方針について

（事務局）

- ・5月29日、三重県から『“命”と“経済”の両立をめざす「みえモデル」』が策定された。「みえモデル」とは、社会経済活動への影響を最小限にした上で、どのように県民の命と健康を守り抜くのか、そして、どのように傷ついた暮らしと経済の再生・活性化を図っていくのかを示すもので、今後、分野ごとに段階を踏んで取り組みを進化させていくこととしている。各部においても、この「みえモデル」を参考に、それぞれの分野で取り組みを検討していただきたい。
- ・「市主催事業等の開催及び貸館基準」について、現在、6月1日からを適用期間とした5月20日付けの基準に基づいて対応していただいているが、5月26日付けで示された県の新たな指針「三重県指針 ver2」及び県主催のイベント開催基準を踏まえ、桑名市においても、適用期間を6月19日からとした新しい「市主催事業等の開催及び貸館基準（案）」を作成した。ご確認いただき、意見等があれば伺いたい。

（都市整備部）

- ・屋外のイベントの開催について、「人と人との距離をできるだけ2m確保できるように」とあるが、国が示している新しい生活様式では「人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける」とされている。「最低1m」の文言を入れてはどうか。

（副本部長）

- ・この基準が市のイベントだけでなく、さまざまな場面で適用されることがある。できる限り明確に示したほうがよいのではないか。

（事務局）

- ・「最低1m、できるだけ2m」に改めることとする。

（教育委員会）

- ・小中学校の年間予定をできるだけ早くお示しするため、各学期や休業日などを示した別紙「令和2年度の桑名市小中学校の年間予定について」を、この対策会議終了後にホームページで公開することとしたい。

（地域コミュニティ局）

- ・市民プールについて、ロッカールーム等での感染防止対策をとりつつ、8月1日から8月30日、9月5日、6日にオープンすることとしたい。また、長島ふれあい学習館のプラネタリウムについても8月1日からの再開を予定している。

（保健福祉部）

- ・4月24日以降、三重県では感染者は確認されていないが、第2波に備え病床を確保するなど医療提供体制を整えている。

2. その他

- ・次回対策本部会議 状況に応じて適宜開催